

報道関係各位

2021年2月25日

マイラン EPD 合同会社

ヴィアトリス、新型コロナウイルスワクチン接種を担う全国の自治体に アナフィラキシー補助治療剤「エピペン®」を無償提供

ヴィアトリスグループのマイラン EPD 合同会社（本社：東京都港区、社長：ソナ・キム）は、新型コロナウイルスワクチン（以下、コロナワクチン）の接種後にアナフィラキシーが発症した際の緊急補助治療に使用いただけるよう、アナフィラキシー補助治療剤「エピペン®注射液0.3mg」（以下、エピペン）11,000本を、コロナワクチン接種を担う全国の1,741自治体に対し、希望に応じ、無償で提供いたします。

新型コロナ対策の重要な柱として、国はワクチンの大規模接種を発表しています。ワクチン接種ではごくまれにアナフィラキシーと呼ばれる重篤なアレルギー反応が報告されており、エピペンはアナフィラキシーに伴う諸症状を緩和するためにご使用いただけます。

エピペンの無償提供を希望される自治体は今後数週間の内に弊社のエピペンの製品情報サイト「エピペンサイト (<https://www.epipen.jp/>)」内に開設されます「無償提供専用ページ」から自治体単位でお申し込み頂けます。

無償提供専用ページの開設時期等については、厚生労働省から追って自治体に連絡される予定です。

なお、提供される11,000本は、コロナワクチン接種対象人口10,000人あたり1本に相当し、自治体毎に提供される数（上限）は人口比で予め配分されますので、先着順ではございません。加えて、たとえ人口の少ない自治体であっても最低1本のエピペンは無償提供できるよう準備致します。

一方、各自治体において無償提供される以上のエピペン購入を希望される場合は、別途、可能な限り応需できるよう、鋭意準備を進めています。

ヴィアトリスは、エピペンの無償提供の活動を通じて、新型コロナウイルス感染症対応に尽力されている医療従事者および関係者の皆様に感謝いたします。

【ヴィアトリスについて】

ヴィアトリスは、世界中の誰もが、人生のあらゆるステージで、より健康に生きられるよう貢献する、新しいタイプのヘルスケア企業です。持続可能なオペレーションを促進し、革新的なソリ

ューションを開発します。また、蓄積された専門知識を活かし、当社独自の Healthcare Gateway™ を通じて、より多くの人びとにより多くの製品とサービスをお届けします。ヴィアトリスは、2020年11月にマイラン社とファイザー社アップジョン事業部門の統合により誕生しました。サイエンス、製造、流通における専門的知識とメディカル、薬事、コマーシャル分野の実績ある能力を結集し、165を超える国と地域の患者さんに高品質な医薬品をお届けしてまいります。ヴィアトリスは、非感染性疾患と感染症にわたる広範な治療領域に1,400種類以上の医薬品を有しています。当社のグローバル・ポートフォリオは、著名なグローバルブランド医薬品、コンプレックス・ジェネリック医薬品、バイオシミラー、一般用医薬品などで構成されています。ヴィアトリスは全世界に約45,000人の従業員を擁し、米国に本社を置き、ペンシルベニア州ピッツバーグ、中国上海、インドのハイデラバードにグローバルセンターを有しています。詳細については、viatris.com および investor.viatris.com をご覧ください。

本邦において、ヴィアトリス製薬株式会社、ファイザーUPJ合同会社、マイランEPD合同会社、マイラン製薬株式会社は、ヴィアトリスグループとして事業を展開しています。

【本リリースに関するお問い合わせ】

ヴィアトリス グループ（マイランEPD）広報

TEL：03-5733-9820

E-mail: japan.communication@viatris.com